

昭和音楽大学でのパネルディスカッション「卒業生と語る」



キャリアデザイン授業「卒業生と語る」の志田3曹（右端）
 <本人、空中音、学生・他パネラー及び学校写真了承済>

自衛隊神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 辻2陸尉）は、令和3年6月16日（水）、昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区）においてキャリアデザイン授業の授業を支援した。

近年、当大学では学生の就職活動を支援する目的で、既に各界の第一線で活躍しているOB・OGをシリーズで授業に招いており、今回は自ら演奏家またはパフォーマーとして活躍する卒業生らが招かれたものである。

コロナ禍ゆえのオンライン授業が主流の昨今、「就職活動について先輩から直接アドバイスがもらえる」という授業は希少なふれあいの場となった。「卒業生と語る」と題された授業は、航空自衛隊航空中央音楽隊（立川）サクソフォン奏者 志田3空曹を含む3名のパネラーによるトークセッションが展開され、時折笑いがかかるなど終始和やかな雰囲気であった。志田3空曹や他パネラーから学生時代の苦労話や経験談が語られると、学生はメモを取るなど熱心な様子で聞き入っていた。

溝の口募集案内所は「今後も、地元大学のキャリアセンター担当者」と調整を行い、授業を通じて自衛隊のイメージ戦略を図りながら募集広報活動を展開していきたい」としている。

海自隊員に予備自衛官等制度をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 夏井 隆 1海佐）は、6月16日（水）、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施された「退職管理教育」において、海自隊員に対する予備自衛官等の制度説明を行い、予備自衛官・即応予備自衛官への積極的な志願を呼びかけた。

本教育は、主として海士を対象とし、将来設計のために必要な知識を付与するとともに自己の在り方の確立と能力開発を図る動機付けを目的として実施されており、今回は管内の部隊や艦艇から集めた隊員約70名が参加した。

当日は、予備自衛官・即応予備自衛官の概要や訓練内容等についてスライドを使用し紹介した。特に、即応予備自衛官については、陸上予備自衛官を経ることにより海上自衛官でも志願が出来ることなどに併せ、令和3年度から新設された「任期制自衛官退職時進学支援給付金」の概要について説明し、退職後の進学支援制度を通じて予備自衛官等へ志願促進を促した。

神奈川地本は、「退職後も予備自衛官等制度を積極的に活用して、在職中に培った知識や経験を活かして地域社会に貢献して頂きたい。制度について詳しく知りたい方は、気軽に地方協力本部に相談して欲しい」と呼びかけた。



「予備自衛官等制度について聴講する海上自衛隊の任期制隊員」